中世の街 「オールボー」

街plus
探訪

国立情報学研究所 金子めぐみ Megumi Kaneko

1 なぜオールボー？

2003年8月、パリから同級生と運転20時間を経て、ヴァイキングの街オールボーに到着しました。歴史的猛暑の38度のパリから、真夏でも僅か18度のデンマーク・オールボーにこれから10か月間過ごすのです。（そのときは4年半住むことになるとは全く想像していませんでした。）猛烈な雨が降る寒い中を、Tシャツ・短パン・サンダル姿でびしょ濡れになって愉快地散歩しているデンマーク人の姿を見てあ然としました。一体なぜこんなところに来てしまったのか?! と後悔した一晩目でした。

所属していたフランスの工学系グランド・エコール Télécom SudParis の Diplôme d'Ingénieur を取得するには、最低3か月間フランス以外の大学・研究機関で勉

強することが必要条件の一つでした。多くの MoU 協定のうちにデンマーク・オールボー大学もありました。Télécom SudParis の3年目をオールボー大で過ごし、その修士に受ければ double diploma を取得できるという制度でした。ロンドンやベルリンと迷い悩んだ結果、オールボーに興味を持ったのは、“オールボーはとてきれいな中世の街でヨーロッパの大切な宝石です”と、Télécom SudParis の国際部部長に勧められたからです。（当時はアンテナ伝搬・無線通信で世界的に有名だったとは知りませんでした…それが理由で MoU 協定が結ばれていたのですが。）その魅力にひかれ、デンマークのオールボー大学 (Aalborg Universitet) で1年間留学することを決意しました。

2 オールボーってどこ？ デンマークでは何語？

オールボーはデンマーク・ユトランド半島 (Jutland) の北にある、人口12万人の小さな町です（図1(a)）。それでもデンマーク第4の都市です。

内陸にありながら、ユトランド半島を横切る海峡リムフィヨルド (Limfjord) に面している戦略的な地理に恵まれ、中世から重要港町として栄えていました。紀元前700年頃から人々が住み、9世紀からはヴァイキングの重要拠点でした。今でもリンホルム・ホイエ

(a) デンマーク・オールボーの地図

(b) デンマークの旗

図1

図2 ヴァイキングの遺跡 Lindholm Høje

(Lindholm Høje, 図2) の遺跡では、5～12世紀のヴァイキングの村墓場が見られ、オールボー独特の観光スポットです。

2009年にはヨーロッパで最も清潔な街に選ばれ、更に2016年のEU調査によると、オールボーはヨーロッパで最も幸せな街でした。ちなみに2位は首都コペンハーゲンで、“cosy”や“和む”の意味に近いデンマーク語のヒュッゲ (Hygge) が、国際用語になるのも納得できます。

“デンマークでは何語を話すの？”とよく日本人の知り合いに聞かれますが、デンマークではデンマーク語です。といっても、ほぼ全国民がびっくりするほど英語ペラペラで、デンマーク語を知らなくても全く困りません。ただ、デンマークなまりに慣れていないと、デンマーク語で話しかけられているのか、英語なのか、最初は分かりづらいかもかもしれません。でも、すぐに慣れるので、観光客にとっては助かります。

3 歴史的な街オールボー

国際部部長に言われたとおり、街中は中世の貴重な建造物が並び、まるでタイムスリップした感じです。

まず、中心には真っ白い素敵な教会 Budolfi Kirke (図3) が建っていて、最も古い部分は15世紀にも遡ります。今でもこんなにきれいに輝いていて、毎回不思議に思います。晴天の日にはまぶしいくらいです。そして、同じ広場に古い赤れんが造りの、堂々とした建物が建っています。どう見ても博物館なのですが、実は郵便局なのです。このように、日本では重要文化財になるような14～15世紀の建物でも、その多くが市役所・レストラン・ショップ等に使用され、誰でも

図3 オールボー中心の Budolfi Kirke

日常的にアクセスできます。

例えば、Jens Bangs Stenhus (図4) は1624年に町の裕福な商人が建てた大きなすばらしい家です。現在は1階は薬局、地下のセラーはレストラン・バーとして使用されています。

ところで、私のお薦めのバーは17世紀の一軒家に入っている Old Irish Pub と、15世紀の修道院の一部にある CaféKlostertorvet です。月に1回はどちらかのバーに行っていました！

また、歩行者天国のショッピングセンターの裏に、特徴的な小さな家が並んでいます。様々なパステルカラーの家々で、本当にアンデルセンの童話の世界のようです。あんなに大柄なデンマーク人がどうやってこの小さな家で暮らせるのかな？ といまだに謎です。

ほかにもまだまだ紹介したい歴史的建造物はたくさんありますが、是非実際に観光して下さい。

このような街並みがお好きでしたら、オーフス Århus の街ごと博物館 Old Town や、アンデルセンの生まれ故郷オーデンセ (Odense)、更にデンマーク最古の町リーベ (Ribe) がお薦めです。

11月に入った途端、町中 (国中) クリスマスモードに入ります。日照僅か10時から15時の寂しい冬を、クリスマスイルミネーションが暖めてくれます (図5)。この時期は、クリスマスランチ・ディナー Julefrokost

図4 17世紀建造の Jens Bangs Stenhus

図5 クリスマスの Nytorv 広場

図6 オールボー Aquavit 工場, フランスからの友達

図8 バーやクラブの通り Jomfru Ane Gade

図7 オールボー Taffel Aquavit

でにぎわいます。日本の忘年会と似ていて、仕事の同僚との会、友達同士の会、家族での会など、多くの Julefrokost が日々続きます。

定番のクリスマス料理はミートボール frikadeller、豚の皮付きロースト flæskesteg やニシンのマリネ marineret sild ですが、それらをデンマークの国民的アルコール Aquavit で流し込みます。Aquavit はジャガイモが原料の度数 40 度以上のお酒で、キンキンに冷やして一気に飲みます。実は、Aquavit はオールボーが主生産地で、世界中に輸出されています。図6の写真はフランスから訪れた友達と工場で作られた様々な種類の Aquavit の塔です。その中で一番ポピュラーなのが赤い Aalborg Taffel Aquavit (図7)。その右は毎日の食卓に欠かせない、デンマーク人大好物の黒いライ麦パン rugbrød です。穀物がぎっしり重たく、特有の強い味のパンです。有名なデーニッシュオープンサンド smørrebrød は、このパンをベースにして、ハムやパテ、先ほどのニシンのマリネを載せたものです。最後に日本でも材料が手に入る smørrebrød のレシピを御紹介します。

4 若くてインターナショナルな街 オールボー

オールボーは元々工業都市でしたが、1974年にオールボー大学が設立されてからは学生・若者の人口が急増し、世界中から研究者が集まる知能都市へと変身しています。

私も Erasmus ネットワークの枠組みでオールボー大学を訪れたため、現地であらゆるヨーロッパの国からの留学生たちと交流することができました。Welcome Party や周辺のツアー、ダンスパーティー、様々なイベントが企画されました。また、毎週水曜日の夜は Budolfi Kirke の正面にある学生バー Studenterhuset に各国からの若者たちが集まり、にぎやかに過ごしました。週末はバーやクラブが延々と並ぶ有名な Jomfru Ane Gade (図8) で、デンマーク人も留学生も仲良く共に夜中まで楽しんでいました。大学では猛烈に勉強・研究をして、自由時間はインターナショナルな文化を楽しむ、成長し、本当に貴重な経験をしました。学生の皆さんはもしオールボー大学に留学する可能性があれば、迷わずそのチャンスをつかんで下さい。(教育費もほぼタダです。)

5 デンマーク・オールボーの 面白い事実

ここでは、幾つか独特なこと・ミニ情報をつぶやきます…

- おなじみの Bluetooth は 10 世紀のデンマーク・ノルウェーのヴァイキング王 Harald Blåtand (青い歯のハラルド) から名付けられた。
- デンマーク人はマジパンが大好物。でも日本人には苦手な味。私はフランスのマジパンは好きですが、デンマークのはきついです。フルーツケーキにも 99% マジパンが入っているの、買う際には十分注意すること。

図9 到着数日後、オールボー街中の風車の前

- キャベツの種類が膨大、芽キャベツからキャベツの“枝・木”まで、見たことのない種類が限りなくマーケットに並んでいます。
- 夕方に散歩をして驚くのは、オールボーの家庭では毎晩6時からキャンドルライト夕食をしていて、どの家でもカーテンを閉めずに窓辺にもキャンドルを置き、外から丸見えで通行人に見物されていてもそれが普通なことです。
- そして気を付けなくてはいけないのは、歩行者より自転車が優先です。慣れていない日本人には危ないです。歩道より自転車レーンの方が広いです。
- 天候では何ととっても強風が有名です（図9）。オールボーに飛行機で到着する場合は、タラップを降りる際に強風に吹き飛ばされないように御注意下さい。機中からは風力発電機 eolien が海中から群をなしてそびえ立っている光景が印象的です。
- 最後に、お薦めのレストラン：高級 Danish French の Mortens Kro, タパスバー Pingvin, カフェ Cafeministeret, カフェ Penny Lane, 断トツおいし

いパン屋さんは La Bonta.

- 中華料理が食べたら Peking 飯店があります。ただし豆腐はありません。

6 付録

最後に私がよく作る、日本で手に入る素材を使ったデンマークで人気のオープンサンドを御紹介します。

スモークサーモン・アーティチョーク・アボカドクリームのデーニッシュオープンサンド：

- 黒ライ麦パン 4 切れ
- レタス
- スモークサーモン 4 切れ
- アーティチョーク好みの量（瓶詰めオイル漬けがデパート等で購入可）
- アボカド大 1 個
- レモン汁半個分
- 塩つまみ

1. アボカドの実をマッシュしてレモン汁と混ぜ、塩を加える。更にアーティチョークと混ぜる。
2. パンにレタス、アボカドクリーム、スモークサーモンの順に乗せる。
3. 細かく刻んだディルと黒胡椒を振りかける。

Værsgo!

金子めぐみ（正員）

私は東京で生まれ、フランス・パリで育ち、デンマーク・オールボー大学で博士号を取得しました。オールボー大学での“Study abroad”により、京都大学に逆留学を経験しました。現在は国立情報学研究所・准教授として、東京を拠点に研究していますが、学会活動や共同研究で海外の学生・研究者とも日々活発に交流しています。